

全中道研会報

令和6年12月20日 No.3

全日本中学校道德教育研究会
<https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350010>



第58回神奈川川崎大会報告

大会実行委員長 山川 俊英

コロナ禍による影響で準備がままならない時期から、いろいろご助言をいただきながら準備をはじめ、コロナ後となった令和5年度の北海道函館大会を参考にさせていただきながら、令和6年度には「オール神奈川」を合言葉に、準備を重ねました。当日は全国各地から多数のご参加をいただき、第58回全日本中学校道德教育研究大会・第53回関東甲信越中学校道德教育研究大会神奈川大会並びに第59回神奈川県立中学校教育研究会道德教育研究大会神奈川大会を盛会のうちに終えることができました。開催に向けて、ご助言を賜りました関係されるすべての方々に感謝申し上げます。



本大会は、研究主題を「自他を大切に作る心を育む道德教育の充実～学びのつ

ながりを感じ、自己の考えを深められる授業づくりを通して～」と設定し、「道德教育」の重要性を再認識し、「自他を大切にすることや「つながり」をキーワードとして実践を重ね、その取組と成果を発信する大会となりました。

授業公開は、川崎市立渡田中学校と川崎市立川崎高等学校附属中学校の2校において全学級で行いました。日ごろからの実践を、それぞれの学校の道德教育の目標を基盤に、ICTの活用、ローテーション授業、哲学的対話などを取り入れた授業の提案がなされました。両校とも、特色をいかした道德の授業実践がなされ、多数ご意見を賜りました。

研究協議も、両校の道德教育の実践をもとに大会実行委員のファシリテーターによる、対話形式の意見交換が行われました。



渡田中学校では先に実践を報告してから意見交換を行い、附属中学校ではまずは授業について意見交換を行ってから研究報告をいたしました。両校とも参

加者の方々のご協力もあって、活発な意見交換がなされました。各地の実践について触れ合う貴重な機会になりました。

2日目は、カルッツかわさき会場で開会行事のあとに、川崎市立渡田中学校の関 真由美教諭による神奈川県の道德教育の取組の基調提案がなされました。道德教育による生徒の変容、



教員の意識の変化などデータを用いて、「つながり」の成果と課題を明らかにした提案になりました。

課題別分科会では、参加者が多数だったことから、川崎市立富士見中学校もお借りして行い

ました。5分科会各2提案ずつ合計10本の提案がなされ、全国各地の実践について、活発な意見交換がなされました。

午後の指導講話では国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 井上結香子先生より「自他を大切にすることを育む道德教育の充実に向けて」と題して、本大会を総括する解説を交えながら、今すぐにでも実践に繋がる内容について、解りやすくご示唆に富んだ講話をなさってくださいました。



本大会では
これからの持
続可能な大会、
また教職員の
働き方改革を
意識しよりコ
ンパクトな大

会運営を目指しました。今後の大会運営に少なからず参考になりましたら、実行委員会として幸甚です。

結びになりますが、本大会開催にあたりましてご指導を賜りました国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 井上結香子先生をはじめ、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会、神奈川県各市町村の教育委員会、ご支援賜りました公益財団法人上廣倫理財団、公益財団法人石橋財団、公益財団法人日本教育公務員弘済会神奈川支部ほか関係された各種団体の皆様に心より感謝申し上げます。

ブロック大会北海道大会報告

北海道道德教育研究会長 田村 明人

1 大会主題

自己理解を深め、よりよい生き方を自ら考え続ける児童・生徒の育成 ～ともに学び、生き方をひろげる道德教育の推進～

2 期日

令和6年10月4日（金）

3 会場並びに開催形態

(1) 会場

◇課題別分科会・授業分科会

旭川市立緑が丘中学校

◇記念講演

旭川大雪クリスタルホール

(2) 開催形態

参集方式とWEBのハイブリッド形式

4 課題別分科会

■第1分科会

「道德教育の指導計画と指導体制の充実」

○提案者

日高町立日高中学校 田下 雅基 教諭

○助言者

上川教育局 主任指導主事 蒔田 和樹 氏
倶知安町立倶知安小学校 中村 和夫 校長

■第2分科会

「道德科の特質を生かした指導方法の工夫、教材の活用について」

○提案者

札幌市立向陵中学校 奥山 裕太 教諭

○助言者

上川教育局 主任指導主事 高嶋 優美 氏
苫小牧市立錦岡小学校 河毛 幸至 校長

■第3分科会

「道德科と他の教育活動との関連」

○提案者

釧路市立青陵中学校 遠山 駿文 教諭

○助言者

留萌教育局 主査 山本 泉美 氏

■第4分科会

「今日的な課題・地域性等を生かした道德教育」

○提案者

函館市立亀田中学校 川合 園子 教諭（提言）
函館市立南茅部中学校 工藤 美希 教諭（発表）

○助言者

上川教育局 主査 中山 智洋 氏
帯広市立帯広小学校 小林 香織 教頭

■第5分科会

「指導と評価の一体化に向けた工夫」

○提案者

根室市立歯舞学園 加賀谷 紘基 教諭

○助言者

学校教育局 主査 菅野 裕介 氏
遠別町立遠別小学校 加納 克則 校長

5 公開授業

■第1分科会 1学年

B 9 【相互理解、寛容】

「自分だけ『余り』になってしまう」

○授業者

旭川市立愛宕中学校 大城 利之 教諭

○助言者

旭川市教育委員会主査 栄 耕平 氏

■第2分科会 1学年

A 1 【自主、自律、自由と責任】

「裏庭での出来事」

○授業者

旭川市立緑が丘中学校 松尾 優 教諭

○助言者

上川教育局 主任指導主事 高嶋 優美 氏

■第3分科会 3学年

D 2 0 【自然愛護】

「『川端』のある暮らし」

○授業者

旭川市立北門中学校 田辺 修司 教諭

○助言者

上川教育局 主任指導主事 蒔田 和樹 氏

6 記念講演

■演題

「よりよい生き方を考える道德科の発問の工夫」

■講師

十文字学園女子大学教授 浅見 哲也 氏

課題別分科会では、道德教育の今日的な課題をテーマに、全道各地の様々な実践が発表されるとともに、多くの示唆に富む助言をいただいた。また、公開授業後に行われた分科会では、熱心な議論がなされ、今後の道德科授業の「質的

な充実」に向けて、多くの学びがあった。

ご講演では、道德的価値の自覚を深めるために、他者理解から価値理解へ向かうタメを作るという二つの「ため・タメ」が大切である。また、学校教育活動全体を通じて行う道德教育と、要の時間である道德科を循環させるような教育活動を行ってほしいとご指導いただいた。

ブロック大会東北大会報告

東北地区中学校道德教育研究会長 佐々木善成

1 大会主題

しなやかな心を持ち、共によりよく生きる力を育む道德教育

ー生徒エージェンシーが生きる授業づくりの推進ー

2 期日

令和6年11月8日（金）

3 会場並びに開催形態

(1) 会場

＜授業分科会・課題別分科会＞

一関市立萩荘中学校

＜開閉会行事・記念講演＞

一関市立萩荘小学校

(2) 開催形態

完全参集型



4 公開授業

＜1年生＞

内容項目 自主、自立、自由と責任

教材名 裏庭のできごと

授業者 古澤 陽生

＜2年生＞

内容項目 相互理解・寛容

教材名 コトコの涙

授業者 岩本 智美

＜3年生＞

内容項目 家族愛、家庭生活の充実

教材名 一冊のノート

授業者 平石 佳那

5 課題別分科会

<第1分科会>

テーマ：道徳科の授業づくりの工夫
(青森県)

「人間としての生き方についての考えを深める授業づくりの工夫」

提案者 平川市立碓ヶ関中学校

教諭 山田 健治

助言者 弘前市立相馬中学校

校長 後藤 光生

(山形県)

「自己を見つめ、議論を通して、生き方についての考えを深める授業づくり」

提案者 遊佐町立遊佐中学校

教諭 小松 健一

助言者 酒田市教育委員会

指導主事 齋藤 晋平

<第2分科会>

テーマ：道徳教育を推進する指導体制の在り方

(秋田県)

「全校体制での道徳教育の推進」

提案者 秋田市立秋田北中学校

校長 佐々木 雄治

(宮城県)

「道徳教育を推進する指導体制の在り方」

提案者 登米市立豊里中学校

教諭 及川 育美

助言者 東北福祉大学教育学部

准教授 佐藤 郷美

6 記念講演

<演題>

「子どものよさや可能性を引き出し生かす道徳教育」

<講師>

十文字学園女子大学教育人文学部

教授 浅見 哲也 先生

公開授業では、多面的・多角的な思考を促す揺さぶる発問の工夫と、考え方を可視化し議論する話し合い活動を視点とした提案と、活発な協

議が行われた。また、課題別分科会では、ICT活用や発問の吟味による授業改善、各学校の特色を生かした道徳教育推進体制等が報告され、発表実践から多くの学びを得ることができた。

ご講演では、道徳教育並びに道徳科の推進にかかわる基本的な考え方を実践と関連付けて分かりやすく解説していただいた。

ブロック大会近畿大会報告

近畿中学校道徳教育研究会長 椿本雅敏

1 研究主題

「いろいろな人の生き方や考え方に触れる道徳教育の充実」～多面的・多角的にとらえ、自ら生き方を探し、学んでいく力を育てる～

2 期 日

令和6年11月1日(金)

3 会 場

紀の川市立粉河中学校



4 課題別分科会

【大阪府】

多面的・多角的な視点で考え、議論する道徳教育の創造～グループワークを取り入れ、言語力を育てる道徳科授業づくり～

・提案者 大阪市立港南中学校

指導教諭 出来 亮太

・助言者 大阪府教育委員会事務局 指導部

初等・中学校教育グループ

総括指導主事 島原 政則

【和歌山県】

道徳的価値を自分のこととして捉え、実感をもって考えを深められる道徳科授業

・提案者 広川町立耐久中学校

教諭 脇村 直弥

・助言者 広川町教育委員会事務局学校教育班

主任 山田 秀次

【滋賀県】

「よりよく生きるために自己の生き方を考えようとする生徒の育成」～思いを伝え合い、考えを深める道徳科の学習を通して～

- ・提案者 高島市立安曇川中学校
教諭 上條 啓子
- ・助言者 滋賀県教育委員会事務局
幼小中教育課指導主事 野々村 愛子

【京都府】

- 「小中9年間を見通した道德教育の充実」
- ・提案者 京都市立修学院中学校
教諭 上山 貴子
- ・助言者 京都市教育委員会
京都市総合教育センター指導室
指導主事 木下 要子

【奈良県】

教材分析シートを活用した道德科の授業力向上への取り組み

- ・提案者 上牧町立上牧中学校
教諭 江本 美帆
- ・助言者 奈良県教育委員会事務局
義務教育課義務教育指導係
指導主事 仲川 克子

【兵庫県】

『言語活動』を位置付けた道德科授業の構想と実践 ～「道德ノート・議論・心情の交流」から見える生徒の心の成長～

- ・提案者 朝来市立梁瀬中学校
教諭 太田 八千代
- ・助言者 朝来市立梁瀬中学校
校長 山畠 操

5 公開授業

- 1年 内容項目 よりよく生きる喜び
銀色のシャープペンシル 東京書籍
- 2年 内容項目 国際理解、国際貢献
六千人の命のビザ 東京書籍
- 3年 内容項目 感動、畏敬の念
生き続ける「大岩杉」
札幌市立西岡北中学校
磯部一雄教諭の自作教材

6 研究報告

那賀地方道德教育研究会中学校部会
紀の川市立荒川中学校教諭 清原 久堯
紀の川市立粉河中学校教諭 仲井 義人

7 指導講評

和歌山県教育庁紀南教育事務所指導主事
龍田 俊樹 氏

8 記念講演

演題 主体的・対話的で『深い』学びをめざして
～「動き」のある道德科授業実践～

四天王寺大学教育学部教授 杉中 康平 氏
札幌市立西岡北中学校教諭 磯部 一雄 氏

ブロック大会四国大会報告

四国小・中学校道德教育研究会長 西山伸二

1 大会主題

自己を見つめ、共によりよい生き方を
求める道德教育
～他の教育活動との関連を通して～

2 期日

令和6年11月15日（金）

3 会場並びに開催形態

- (1) 会場 那賀町立相生中学校
- (2) 開催形態 完全参集型

4 公開授業

<1年生>

内容項目 相互理解、寛容
教材名 言葉の向こう
授業者 龍田 祐貴

<2年生>

内容項目 生命の尊さ
教材名 つながる命
授業者 徳本 隆史

<3年生>

内容項目 自主、自律、自由と責任
教材名 三年目の「ごめんね」
授業者 村上 綾菜

5 課題別分科会

<第1分科会>

テーマ：道德科の指導の工夫
(愛媛県)
「自他を尊重し、よりよく生きよう
とする生徒の育成」

提案者 東温市立重信中学校
教諭 三好 裕美子
(徳島県)

「生徒が主体的に取り組む道德科の
指導の工夫」

提案者 阿波市立市場中学校
教諭 氏原 裕真
助言者 鳴門教育大学
教授 金野 誠志

<第2分科会>

テーマ：学校教育全体で取り組む道德
教育の推進

(香川県)
「チームで取り組む道德教育の推進」

提案者 丸亀市立西中学校
教諭 部矢 憲子

(徳島県)
「学校全体で取り組む道德教育の推進」

提案者 阿南市立羽ノ浦中学校
教諭 磯口 美幸

助言者 鳴門教育大学
准教授 岡田 康孝

<第3分科会>

テーマ：地域社会・家庭と連携した道德
教育の推進

(高知県)
「地域と連携した道德教育の推進」

提案者 南国市立北陵中学校
教諭 森國 慎吾

(徳島県)
「地域社会・家庭と連携し郷土を愛する態度
を育てる道德教育の推進」

提案者 佐那河内村立佐那河内中学校
教諭 吉川 奈央
助言者 鳴門教育大学
教授 池田 誠喜

6 記念講演

<演題>

「郷土を愛し 主体的に生きる力を育
む道德教育の推進」

<講師>

香川大学大学院教育学研究科高度教職
実践専攻 教授 植田 和也 先生

公開授業では、「聴く」姿勢を大切にした余韻
の残る授業が行われ、分科会では各学校の特色
を活かした取組が報告された。

講演では、公開授業や課題別分科会と結びつ
けながらその実践を理論付け、とても分かりや
すくユーモアを交えながらお話しをいただいた。

第2回役員・理事会報告

令和6年11月21日(水) 17:00~17:45に、全
中道・関中道役員・理事会を、神奈川川崎大会
会場であるカルッツかわさきにて、ZOOMを
活用したハイブリッド型で開催いたしました。

○全日本中学校道德教育研究会長挨拶

会長 木村 知広

本日、この場に文部科学省教科調査官の井上
先生、上廣倫理財団から上田様にもお越しいた
だきました。ありがとうございます。

また、全中道、関中道の顧問の皆様もお集ま
りいただきありがとうございます。

本日、無事に1日目を終えることができました。
本大会実行委員長の山川先生をはじめ、神
奈川県の皆様にお礼を申し上げます。

紀要にも書かせていただきましたが、本日皆
様と共有したいことは次のようなことです。

今年度の全国学力・学習状況調査では、道德
の授業で考えを深めたり話し合ったりする活動
に取り組んでいるか、という質問に対して肯定
的評価が91%となっており、道德科が着実に
定着していると考えられます。しかし、学校の
現状は働き方改革、部活動地域移行、ICTの活用
など解決に至らない課題が山積しており、道德
実施状況調査分析で示された「教科書会社の見
本に頼ることが多い」、「研修や優れた実践を見
る機会がない」等の課題は解決できていません。
そのため、授業改善や教師の指導力の維持・向

上の研修機会等の充実は、喫緊の課題です。



だからこそ、本大会における対面での実践、研修は意義のあるものだといえます。本大会がきっかけとなり、様々な良い循環となっていくことでしょう。また明日の分科会発表も素晴らしいものにしていきたいと思っています。大会に参加されているすべての先生方が、今後自信をもって授業ができるよう、明日もよろしくお願いします。

○来賓挨拶

◇文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程調査官 井上 結香子 様

◇上廣倫理財団 上田 博次 様

◇全中道顧問 斉藤 直子 様・永林 基伸 様

鈴木 明雄 様・江川 登 様

賞雅 技子 様・菅野由紀子 様

◇関中道顧問 山西 実 様・飛田 仁 様

五十嵐由和様・星野 延平 様

会田 研司 様・島方 勝弘 様

○功労者表彰について【審議】

各地区からご推薦いただいた7名の方を全員賛成で承認されました。

・岩手県 佐々木秀一 様

・茨城県 折本 正巳 様

・栃木県 加藤 悦宏 様

・埼玉県 藤間 隆子 様

・東京都 月田 行俊 様

・大阪府 上西 創司 様

・熊本県 桃崎 剛寿 様

○今後の全国大会予定について

◇令和7年度 岐阜大会 岐阜市

令和7年11月27日～28日

岐阜市立長良中学校、グランヴェール岐山

◇令和8年度 東京大会

令和8年11月5日（木）、6日（金）

板橋区を予定、日程等今後調整します。

◇令和9年度 奈良大会

大和郡山市を予定しています

◇令和10年度 愛媛大会

◇令和11年度 島根大会

○今後の関東甲信越大会予定について

◇令和7年度 山梨大会(ワライ)

・授業視聴期間 10/6～10/24

甲府市立西中学校、北杜市立須玉中学校

西桂町立西桂中学校

・大会配信日 10/24

やまなし地域づくり交流センター

◇令和8年度 東京大会

◇令和9年度 茨城大会

※北海道、東北、東京、東海北陸、近畿、

中国、四国、九州の理事から大会の実施

と予定についての報告がありました。

大会情報はHPに掲載していきます。

○次年度以降の各ブロック大会予定

ア 北海道〔毎年開催〕R7 札幌 / R8 釧路 / R9 空知

イ 東北〔毎年開催〕R7 秋田 / R8 青森 / R9 休会 / R10 山形 / R11 宮城 R12 秋田 / R13 岩手 / R14 青森 / R15 休会

ウ 東京〔毎年開催〕R7 東京 / R8 東京 / R9 東京

エ 東海北陸〔全国開催〕R7 岐阜(11/27.28)

オ 近畿〔毎年開催〕

R7 大阪 11/21（金）実施予定

太子町立中学校、河南町立中学校、

千早赤坂村中学校

富田林市すばるホール（全体会）予定

R8 京都 / R9 奈良 / R10 滋賀 /

R11 兵庫 / R12 和歌山

カ 中国〔隔年開催〕

R7 広島 11/7 (金) 尾道市立向東中学校
R9 鳥取 / R11 島根
キ 四 国 [隔年開催] R8 香川 / R10 愛媛
ク 九 州 [隔年開催] R7 鹿児島 / R9 熊本
R12 長崎

○事務局より

◇令和6年度「中学校道徳教育実践事例集10」の執筆について

※各地区から事例を事務局まで送ってください。

◇令和7年度道徳教育推進教師養成講座の参加者推薦について (定員40名を予定)

※7年度も模擬授業を行う形式で実施予定。多くの先生方をご推薦ください。

◇令和6年度会費 (分担金) 納入について

※ご協力ありがとうございました。
領収書は送付済です。ご確認ください。

◇2024年度道徳教育助成金報告書について

※年度末までにご提出ください。

◇各ブロック大会等の広報について

※事務局までご報告をお願いします。



○第58回全日本中学校道徳教育研究大会神奈川県川崎大会報告

◇大会実行委員長より報告 山川 俊英 様

- ・川崎大会は、「自他を大切にする心を育む道徳教育の充実」を大会主題に、「学びのつながり」を大切に日頃から実践している授業、研究や取組を見てもらうことを目標に実施しました。

◇大会参加者 (顧問) の感想

- ・道徳は、「教養と人格」。今日はこれが育まれ

ていた一日でした。今日伺った学校には「信愛」の文字がかかげられていました。この言葉は、先生を信じる生徒の心と、生徒を愛する先生の心を表しています。その言葉通り、晴れの日作法をわきまえたきちんとした生徒たちでした。

- ・本日はいい授業を見させてもらいました。先生方が子供たちと本音で語り合うよさを見せてもらいました。
- ・本日、どちらの学校に授業を見に行くか迷ったのですが、附属中に行きました。それは、「対話」にこだわった授業を全学級でやっていると聞いたからです。どのクラスも活発な対話が見られてよかったです。
- ・とても充実した授業でした。担任の先生と、授業について話をしたかったです。
- ・渡田中で授業を見学しました。「二通の手紙」の授業で、遵法精神に優しさを取り入れた授業でした。
- ・教師と子供がしっかり向き合う中で、考えを深めていたのがよかったのではないかと思います。コロナ禍を経て、道徳の教科化が途切れてしまったのではないかと感じていましたが、この神奈川大会でまた機運が高まってきていると感じました。
- ・学習指導要領を読んで、方法論ではなく、本質的なことを大切にしてほしいと思います。今大会で学んだことを、各地域で伝えて広めていってください。
- ・対面で大きな会場で開催できることをうれしく思います。本日授業をしていただいた2校の先生方が、川崎、神奈川、そして全国を牽引する人材になってほしいと思います。
- ・本日はどちらに行くか迷いましたが、渡田中へ行きました。それは渡田中の研究推進委員長の先生が以前同僚だったからです。その先生が成長していて驚きました。
- ・久しぶりに道徳の授業を見て、またやってみたい、と思いました。
- ・3年前の埼玉関ブロ大会はハイブリッドで行

いました。今回は会場で開催できてうれしいです。

◇井上教科調査官より

公開授業と研究協議会を見させていただきましたが、川崎市立渡田中も、川崎高等学校附属中も組織力を十分に発揮され、校長先生のリーダーシップの下、道徳教育推進教師を中心に、道徳教育に熱心に取り組んでいる様子が見られました。特に授業をされていた先生方の表情がとても素晴らしく、道徳の授業を楽しんでいることが伝わってきて嬉しかったです。

本大会の主題である「自他を大切にすること」を育む道徳教育の充実～学びのつながりを感じ、自己の考えを深められる授業づくりを通して～」の中でも、私は特につながりに注目して講演でも触れたいと思います。明日もまた道徳教育の充実に向けて、皆さんで研鑽を深めていってください。

○感謝状授与者

閉会行事で、木村会長から感謝状を授与いたしました。

- ・ 迫田 しの 様（神奈川県会長）
- ・ 山川 俊英 様
（大会実行委員長・公開授業会場校責任者）
- ・ 西 道生 様（公開授業会場校責任者）

神奈川川崎大会アルバム



第3回役員・理事会 <ハイブリッド開催>

日時: 令和7年3月1日(土)

会場: 上廣倫理財団 UF ホール

※当日は、関中道研役員・理事会、全中道研副会長会も開催します。開始時間やZOOM等については後日配付する開催案内をご確認ください。

令和7年度 役員・理事会の予定

第1回: 令和7年7月5日(土)

第2回: 令和7年11月27日(木) * 岐阜大会

第3回: 令和8年2月28日(土)

道徳教育推進教師育成講座

令和7年8月2日(土)、3日(日)

会場: 上廣倫理財団 UF ホール